令和６年度

学校評価アンケート(まとめ)

令和７年１月10日～１月24日実施

高知県立宿毛工業高等学校

高 知 県 宿 毛 市 平 田 町 戸 内 ２ ２ ７ ２ － ２

・　・　・　・　・　　目　　次　　・　・　・　・　・

１　はじめに

２　令和６年度学校評価アンケート集計結果

生徒・保護者・教職員の比較結果　・・・・・　１～１３

学校運営協議会（地域）の結果　・・・・・　１４

３　結果考察　・・・・・　１５～２０

１　はじめに

「開かれた学校づくり」の取組の一つとして、平成 14 年度に始まった学校評価アンケートは、本年度で 23 回目を数えました。この 23 年間には、社会の変化、教育を取り巻く環境、生徒数の減少等の様々な変化に対応するため、学科改編やカリキュラムの見直し、ICT 機器を活用した教育活動の推進、スクール・ポリシーの策定等に取り組んできました。創立 70 年目の本年度もさらに進化発展すべく様々な取組をしているところです。

令和６年度も生徒、保護者、地域の皆様方のご協力のおかげをもちまして、この学校評価アンケートを実施させていただくことができました。評価項目は学校運営など例年と同じ項目としましたが、平成 29 年度より設問内容に生徒・保護者・教職員の自己評価を問う設問を多く入れています。

また、アンケート回答方法につきましては、生徒用１人１台タブレット端末の整備や、スマートフォン等の普及、集計の効率化等の理由により、これまでのマークカード記入方式から前年度より WEB アンケート入力方式に変更し、実施いたしました。

なお、アンケートの回答率は、生徒 90.3%（前年度 85.3%）、保護者 96.3%（前年度 86.2%）、地域の皆様 66.7%（前年度 44.4%）、教職員 100%（前年度 100%）で、全体の回答率は 93.4%（前年度 86.4%）になっております。

日頃から、保護者や地域の皆様、来校された方々から、お褒めの言葉や叱咤激励の言葉もいただいております。学校評価を単なるアンケートで終わらすことのないよう、この結果を公表し、学校運営協議会等で説明、協議を行い、次年度からのより良い学校づくりに活かしていきます。引き続き、生徒、保護者、地域の皆様方から信頼される学校づくりを目指し、さらに改善していくよう努力をしてまいります。

今後におきましてもこの学校評価アンケートを「信頼され、期待される学校づくり」のために続けていきたいと考えておりますので、これからも皆様方のご協力をお願いいたします。

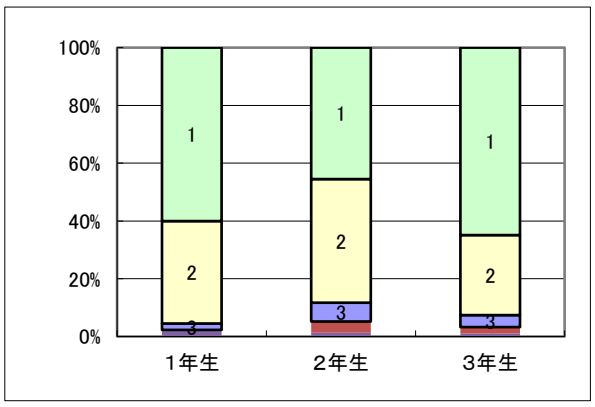
○令和６年度学校評価アンケート集計結果

回答数（全体）	５８４名	
回答率	全体	９３．４％（前：86.4%）
	生徒	９０．３％（前：85.3%）
	保護者	９６．３％（前：86.2%）
	地域	６６．７％（前：44.4%）
	教職員	１００．０％（前：100%）

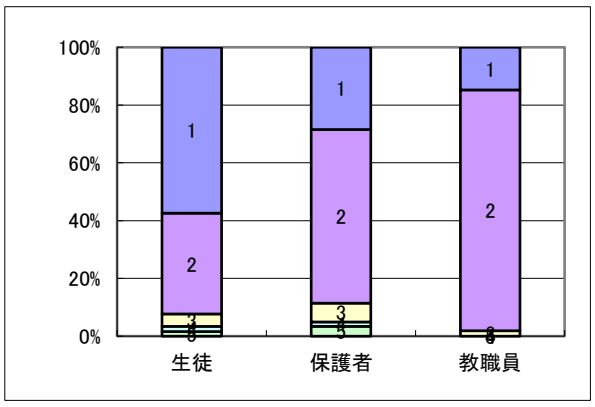
令和6年度　学校評価アンケート集計結果

問1　私は宿毛工業高校に通学するのが楽しいと感じている。　　（生徒）
　　生徒たちは宿毛工業高校に通学するのが楽しいと感じている。　（保護者、教職員）
　　1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	54	60%	35	45%	61	65%
2	32	36%	33	43%	26	28%
3	2	2%	5	6%	4	4%
4	0	0%	3	4%	2	2%
5	2	2%	1	1%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



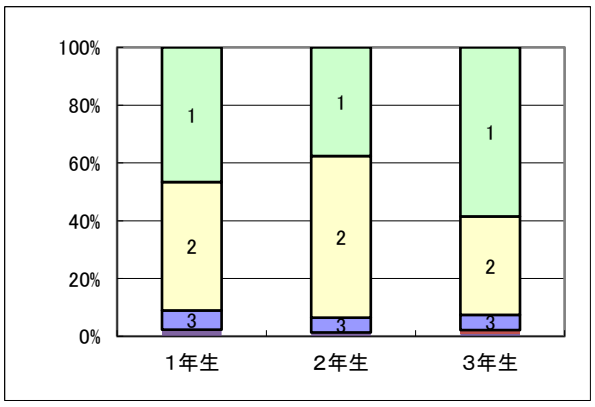
	生徒		保護者		教職員	
1	150	57%	75	29%	8	15%
2	91	35%	158	60%	45	83%
3	11	4%	17	6%	1	2%
4	5	2%	4	2%	0	0%
5	4	2%	9	3%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



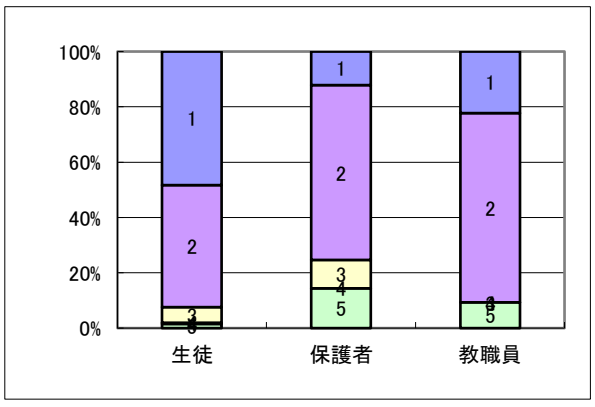
　生徒の家庭や学校での生活を日々みている保護者、教職員は肯定的にとらえている。生徒は92％（目標85％）が肯定的な意見であり、勉強、資格取得、部活動、進路など、生徒個々に適した目標を具体的に持たせ、有意義な高校生活を送れるように努めるとともに、「あまりそう思わない」「そう思わない」（6％）と回答した生徒の声に耳を傾け、少しでも光が当たるような指導に努める必要がある。
【生徒：86％⇒92％↑、保護者：87％⇒89％↑、教職員：94％⇒98％↑】

問2　宿毛工業高校では分かりやすい授業が行われている。　　（生徒、保護者）
　　私は分かりやすい授業に努めている。　　（教職員）
　　1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	42	47%	29	38%	55	59%
2	40	44%	43	56%	32	34%
3	6	7%	4	5%	5	5%
4	0	0%	0	0%	1	1%
5	2	2%	1	1%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



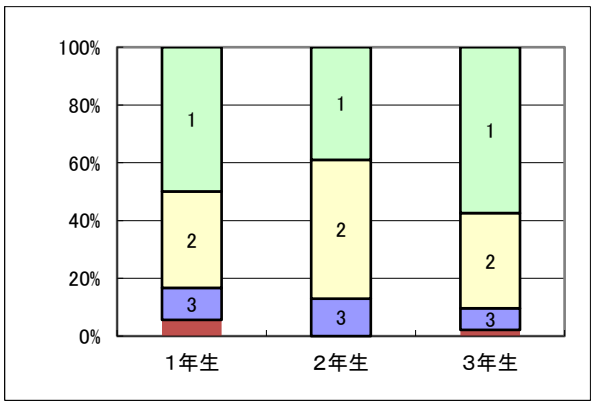
	生徒		保護者		教職員	
1	126	48%	32	12%	12	22%
2	115	44%	166	63%	37	69%
3	15	6%	27	10%	0	0%
4	1	0%	0	0%	0	0%
5	4	2%	38	14%	5	9%
6	0	0%	0	0%	0	0%



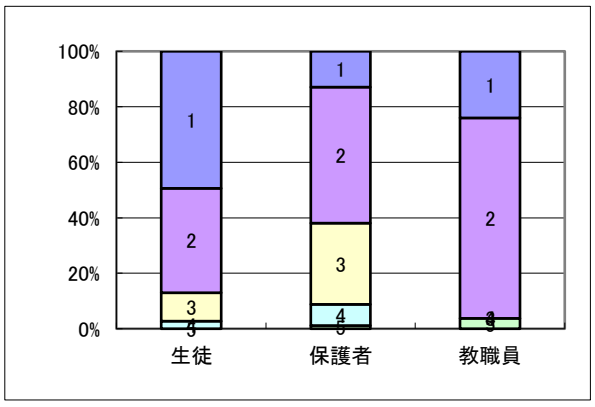
　生徒の肯定的な意見が前年より3ﾎﾟｲﾝﾄ増加した。教職員は日々わかる授業を目指して授業研究に取り組み、授業改善委員会、授業評価システム、公開授業等を通して研鑽に励み、教職員の自己評価と子どもたちの温度差を埋めるよう取り組まなければならない。
【生徒：89％⇒92％↑、保護者：73％⇒75％↑、教職員：89％⇒91％↑】

問3　私は学力の向上をめざして努力している。　（生徒）
保護者としてお子さんに家庭学習をするように言っている。　（保護者）
私は生徒の学力の向上をめざして努力している。　（教職員）
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	45	50%	30	39%	54	57%
2	30	33%	37	48%	31	33%
3	10	11%	10	13%	7	7%
4	5	6%	0	0%	2	2%
5	0	0%	0	0%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



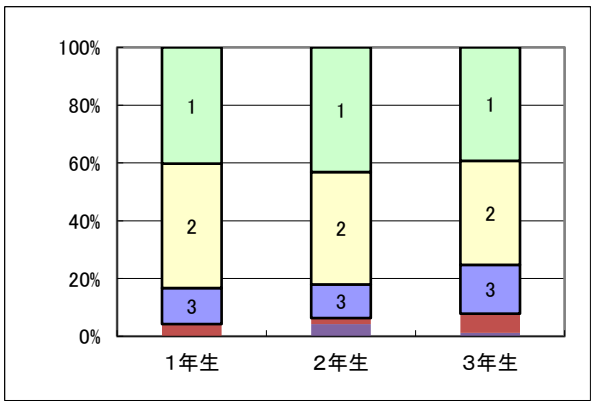
	生徒		保護者		教職員	
1	129	49%	34	13%	13	24%
2	98	38%	129	49%	39	72%
3	27	10%	77	29%	0	0%
4	7	3%	20	8%	0	0%
5	0	0%	3	1%	2	4%
6	0	0%	0	0%	0	0%



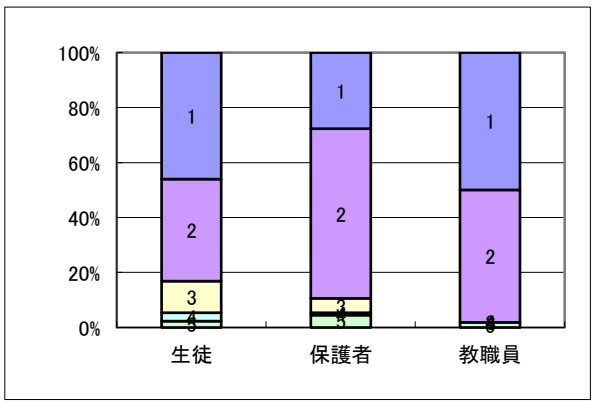
それぞれの立場で自己評価をしてもらったが、生徒は前年度と変わらず、保護者、教職員が増加した。学力向上のためには学校と家庭が連携して取り組む必要があり、保護者の家庭学習への関心と「努力できていない」生徒への意識づけが今後の課題である。設問2と関連づけ、引き続き基礎学力の定着と学力向上に向けた取り組みを継続しなければならない。
【生徒:87%⇒87%、保護者:59%⇒62%↑、教職員:92%⇒96%↑】

問4　私は資格取得等に向け積極的に取り組めている。　（生徒）
宿毛工業高校は、資格取得等への対応が良くできている。　（保護者）
宿毛工業高校は、資格取得等への対応に努めている。　（教職員）
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	29	40%	41	43%	35	39%
2	31	43%	37	39%	32	36%
3	9	13%	11	12%	15	17%
4	3	4%	2	2%	6	7%
5	0	0%	4	4%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	120	46%	73	28%	27	50%
2	97	37%	162	62%	26	48%
3	30	11%	14	5%	0	0%
4	8	3%	2	1%	0	0%
5	6	2%	12	5%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



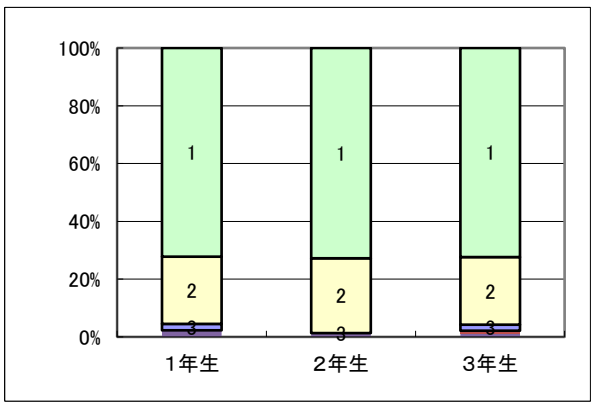
3者ともに高い評価を得た。本校の教育目標を達成するために意欲的に取り組んだ成果だと考えられる。工業の専門高校として、設問1と関連づけながら、さらに子どもたちが意欲的に取り組めるよう、資格試験の精選や合格率の向上を目指した工夫に努めなければならない。
【生徒:80%⇒83%↑、保護者:86%⇒90%↑、教職員:96%⇒98%↑】

問5　宿毛工業高校は科や専攻ごとに特色のある指導が行われている。　（生徒、保護者）

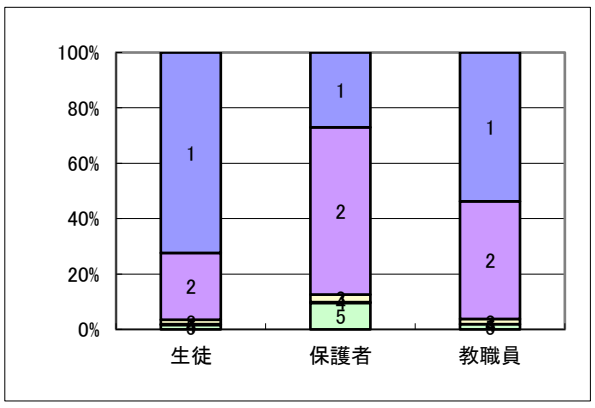
宿毛工業高校は科や専攻ごとに特色のある指導に努めている。　（教職員）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	65	72%	56	73%	68	72%
2	21	23%	20	26%	22	23%
3	2	2%	0	0%	2	2%
4	0	0%	0	0%	1	1%
5	2	2%	1	1%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	189	72%	71	27%	29	54%
2	63	24%	159	60%	23	43%
3	4	2%	7	3%	1	2%
4	1	0%	1	0%	0	0%
5	4	2%	25	10%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



生徒、保護者は、1ﾎﾟｲﾝﾄ減少しているが、毎年高い評価を受け、専門高校の特色である各科・専攻科の取り組みが反映されている。保護者は「わからない」という回答が10%（前：11%）なので、今後も、校内外に視野を広げ、地域貢献を通してものづくりの技術を磨くなど更なる魅力ある特色の幅を広げる取り組みにしていく必要がある。

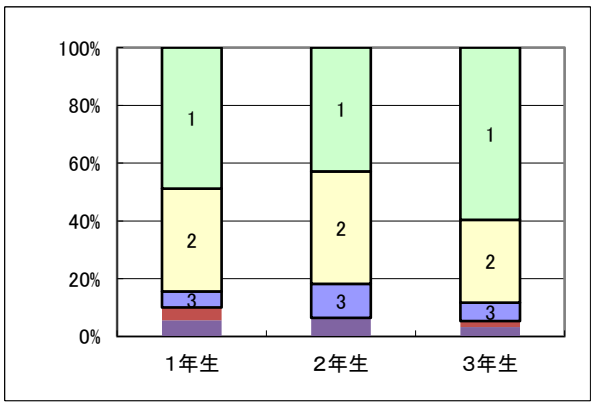
【生徒：97%⇒96%↓、保護者：86%⇒87%↑、教職員：98%⇒97%↓】

問6　宿毛工業高校には悩み事や困ったことを気軽に相談できる先生がいる。　（生徒、教職員）

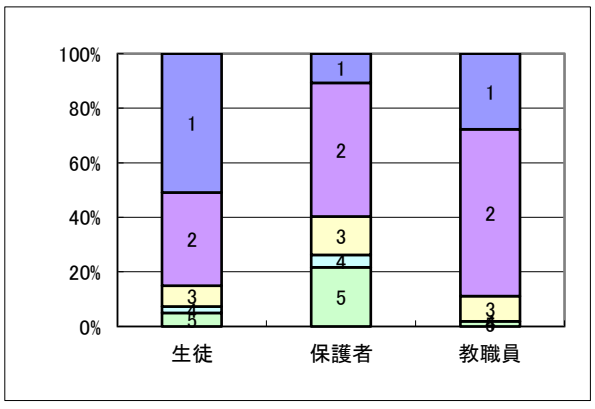
宿毛工業高校にはお子さんの悩み事や困ったことを気軽に相談できる先生がいる。　（保護者）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	44	49%	33	43%	56	60%
2	32	36%	30	39%	27	29%
3	5	6%	9	12%	6	6%
4	4	4%	0	0%	2	2%
5	5	6%	5	6%	3	3%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	133	51%	28	11%	15	28%
2	89	34%	129	49%	33	61%
3	20	8%	37	14%	5	9%
4	6	2%	12	5%	0	0%
5	13	5%	57	22%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



教育相談の充実と専門科の特徴を生かした指導を行い、少しずつ認知されてきており、3者ともに増加傾向にある。また、新入生の見守り支援体制も充実しており肯定的な意見が多い。思春期特有の悩みを解決すべき研修やカウンセリング、SC・SSWとの連携等にこれからもより一層取り組み、生徒から信頼される教職員・学校にしていかなければならない。

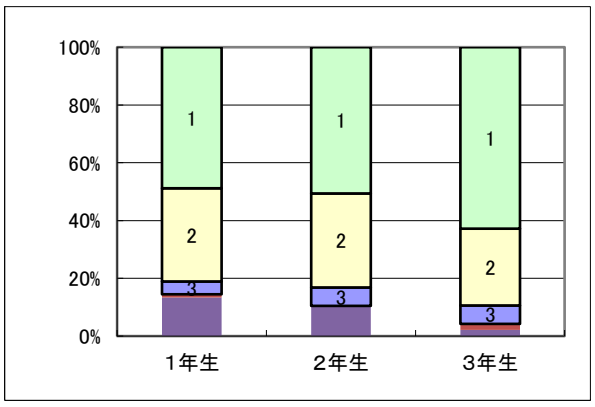
【生徒：79%⇒85%↑、保護者：58%⇒60%↑、教職員：85%⇒89%↑】

問7　宿毛工業高校は悩みや質問などに対して生徒の相談に誠実に対応している。　（生徒、保護者）

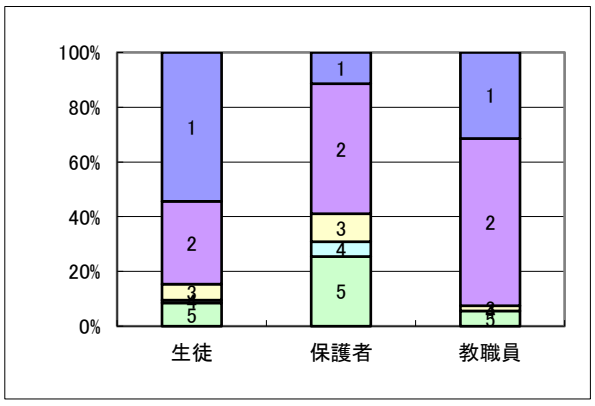
私は悩み・質問などに対して生徒の相談に誠実に対応している。　（教職員）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	44	49%	39	51%	59	63%
2	29	32%	25	32%	25	27%
3	4	4%	5	6%	6	6%
4	1	1%	0	0%	2	2%
5	12	13%	8	10%	2	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	142	54%	30	11%	17	31%
2	79	30%	125	48%	33	61%
3	15	6%	27	10%	1	2%
4	3	1%	14	5%	0	0%
5	22	8%	67	25%	3	6%
6	0	0%	0	0%	0	0%



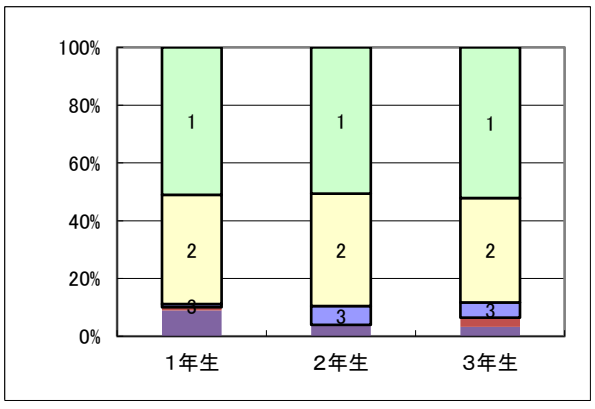
生徒の肯定的な意見は前年度より5ﾎﾟｲﾝﾄ増加しており、教職員の肯定的な意見は3ﾎﾟｲﾝﾄ減少している。2者の回答にはギャップがあり、設問6と同様、更に生徒に寄り添いながらよく理解し、誠実な対応を心掛け、意識差を克服する取り組みに努めなければならない。
【生徒:79%⇒84%↑、保護者:58%⇒59%↑、教職員:95%⇒92%↓】

問8　宿毛工業高校は人権を尊重する教育に積極的に取り組んでいる。　（生徒、保護者）

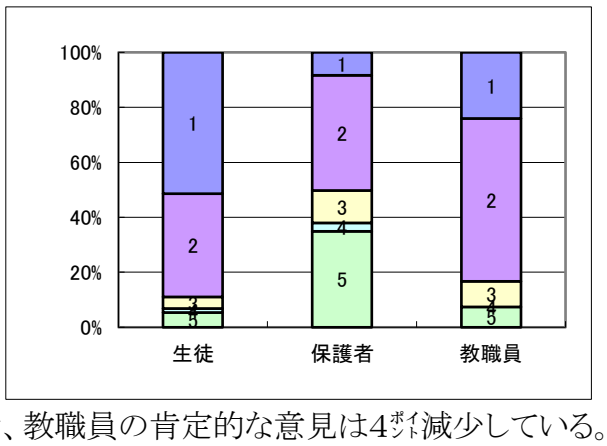
私は人権を尊重する教育に積極的に取り組んでいる。　（教職員）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	46	51%	39	51%	49	52%
2	34	38%	30	39%	34	36%
3	1	1%	5	6%	5	5%
4	1	1%	0	0%	3	3%
5	8	9%	3	4%	3	3%
6	0	0%	0	0%	0	0%



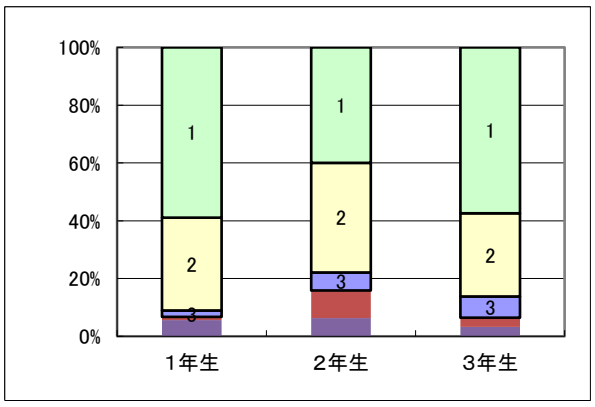
	生徒		保護者		教職員	
1	134	51%	22	8%	13	24%
2	98	38%	110	42%	32	59%
3	11	4%	31	12%	5	9%
4	4	2%	8	3%	0	0%
5	14	5%	92	35%	4	7%
6	0	0%	0	0%	0	0%



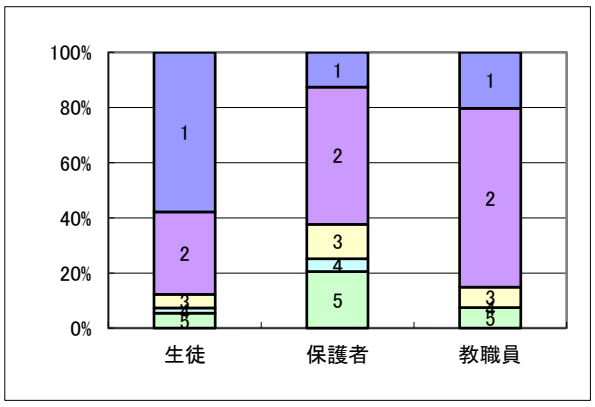
生徒の肯定的な意見は前年より5ﾎﾟｲﾝﾄ増加、保護者、教職員の肯定的な意見は4ﾎﾟｲﾝﾄ減少している。本校の人権教育は他校に比べ、質・量ともに豊富であるが、生徒の要求にこたえることのできるよう、更なる充実に取り組んでいくとともに、設問6、設問7と関連づけた教育活動を展開しなければならない。また、多様な生徒が増えてきているだけに、生徒・保護者の要求にこたえるよう取り組む必要がある。これからも、いじめの根絶を目指し、報告・連絡・相談を心がけ、早期発見、早期対応への取り組みに努めていかなければならない。
【生徒:84%⇒89%↑、保護者:54%⇒50%↓、教職員:87%⇒83%↓】

問9　宿毛工業高校は生徒一人ひとりの個性･長所を見出し、伸ばす努力をしている。　（生徒、保護者）
私は生徒一人ひとりの個性･長所を見出し、伸ばす努力をしている。　（教職員）
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	53	59%	38	40%	54	57%
2	29	32%	36	38%	27	29%
3	2	2%	6	6%	7	7%
4	1	1%	9	9%	3	3%
5	5	6%	6	6%	3	3%
6	0	0%	0	0%	0	0%



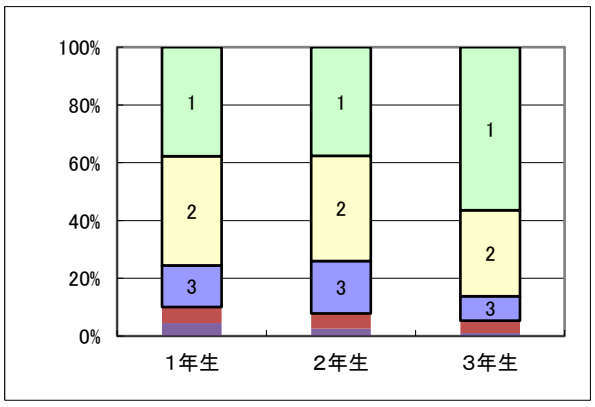
	生徒		保護者		教職員	
1	151	58%	33	13%	11	20%
2	78	30%	131	50%	35	65%
3	13	5%	33	13%	4	7%
4	5	2%	12	5%	0	0%
5	14	5%	54	21%	4	7%
6	0	0%	0	0%	0	0%



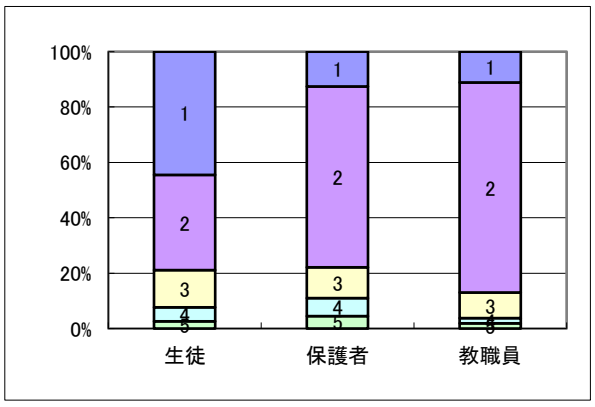
生徒の肯定的な意見は前年度より4ﾎﾟｲﾝﾄ増加している。学校にとっても難しい課題であるが、専門科の特徴を生かしながら設問6、設問7を充実させ、生徒一人ひとりの理解･支援に努めるとともに、生徒の成長へと繋げていきたい。
【生徒:84%⇒88%↑、保護者:63%⇒63%、教職員:89%⇒85%↓】

問10 宿毛工業高校の校則や決まりはおおむね妥当である。
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	34	38%	29	38%	53	56%
2	34	38%	28	36%	28	30%
3	13	14%	14	18%	8	9%
4	5	6%	4	5%	4	4%
5	4	4%	2	3%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	116	44%	33	13%	6	11%
2	90	34%	172	65%	41	76%
3	35	13%	29	11%	5	9%
4	13	5%	17	6%	1	2%
5	7	3%	12	5%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%

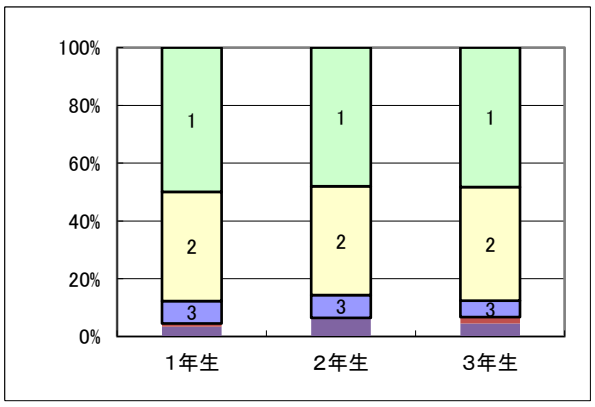


多くの高校生は、校則や決まり事に対して嫌悪感を示しがちであるが、平成20年度以前の40～50%台と比較して、生徒がおおむね妥当であると答えている。R2年度から前年度にかけて、制服の追加や頭髪の変更といった、生徒会を中心に校則の見直しを行った。これからも、生徒会、職員会等との相互の共通理解を図り、学校生活の規範意識のさらなる向上につなげていきたい。
【生徒:75%⇒78%↑、保護者:76%⇒78%↑、教職員:89%⇒87%↓】

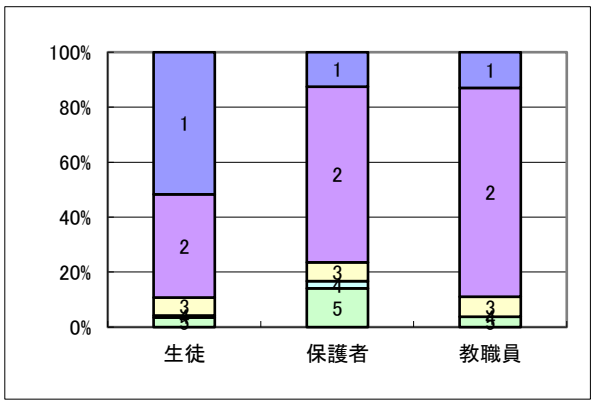
問11 宿毛工業高校の学校生活についての教員の指導は納得できる。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	45	50%	37	48%	43	48%
2	34	38%	29	38%	35	39%
3	7	8%	6	8%	5	6%
4	1	1%	0	0%	2	2%
5	3	3%	5	6%	4	4%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	135	52%	33	13%	7	13%
2	98	38%	168	64%	41	76%
3	17	7%	18	7%	4	7%
4	2	1%	7	3%	0	0%
5	9	3%	37	14%	2	4%
6	0	0%	0	0%	0	0%

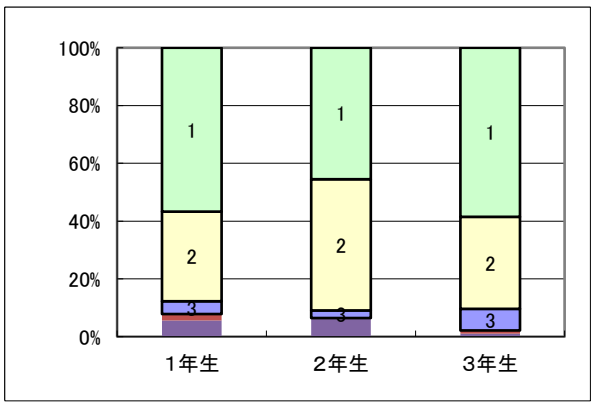


R2年度から8割以上の生徒の肯定的な意見があり、学校生活が安定していることが伺える。設問12の結果にも表れているように、更に教職員の共通理解と意識の向上を図り、生徒の立場に立った指導の充実を図らなければならない。
【生徒:87%⇒90%↑、保護者:74%⇒77%↑、教職員:87%⇒89%↑】

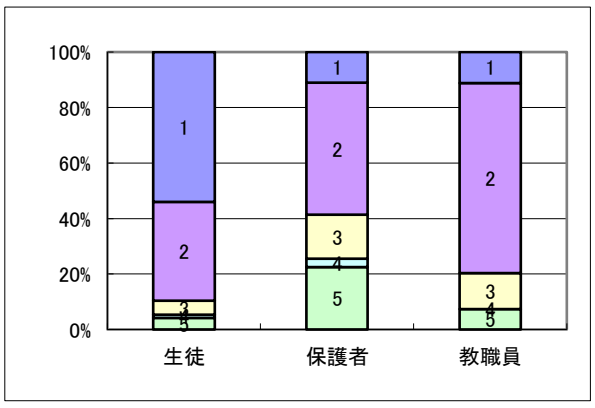
問12 宿毛工業高校では全教職員が一致協力して生徒の指導に取り組んでいる。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	51	57%	35	45%	55	59%
2	28	31%	35	45%	30	32%
3	4	4%	2	3%	7	7%
4	2	2%	0	0%	1	1%
5	5	6%	5	6%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	141	54%	29	11%	6	11%
2	93	36%	125	48%	37	69%
3	13	5%	42	16%	7	13%
4	3	1%	8	3%	0	0%
5	11	4%	59	22%	4	7%
6	0	0%	0	0%	0	0%

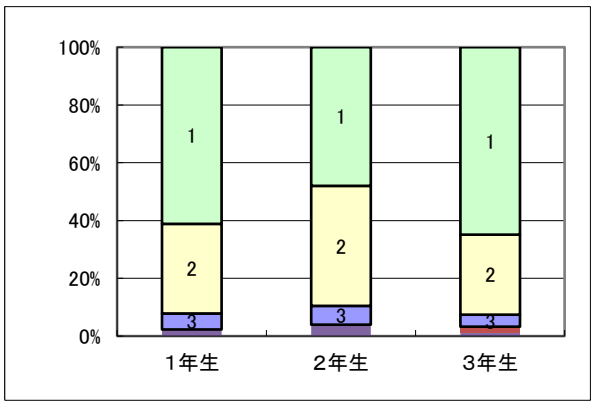


生徒・教職員の肯定的な意見は8割以上であるが、教職員は3ﾎﾟｲﾝﾄ減少している。学校として統一した指導に取り組まなければならない。一方、保護者の肯定的な意見は3ﾎﾟｲﾝﾄ増加しているが、更に教職員間の共通理解や意識を向上させ、生徒が充実した学校生活が送れるように組織として継続した取組が必要である。
【生徒:83%⇒90%↑、保護者:56%⇒59%↑、教員:83%⇒80%↓】

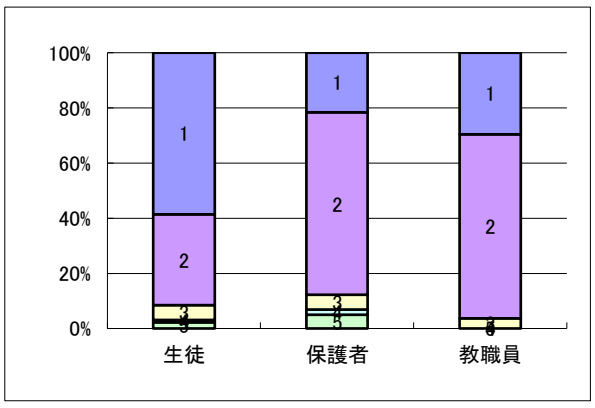
問13 宿毛工業高校は安全で安心して通える学校である。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	55	61%	37	48%	61	65%
2	28	31%	32	42%	26	28%
3	5	6%	5	6%	4	4%
4	0	0%	0	0%	2	2%
5	2	2%	3	4%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	153	59%	57	22%	16	30%
2	86	33%	174	66%	36	67%
3	14	5%	14	5%	2	4%
4	2	1%	5	2%	0	0%
5	6	2%	13	5%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%

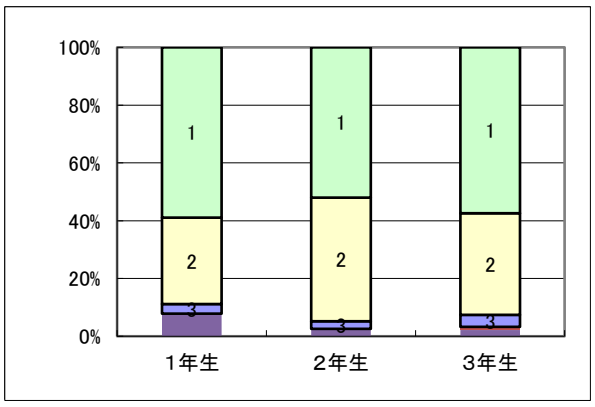


昨年度より保護者の肯定的な回答が3ﾎﾟｲﾝﾄ減少している。3者の割合は高いが、引き続き、教育相談、ホーム主任によるカウンセリング、生活指導、安全教育等の取り組みを強化する必要がある。生徒が学校生活に不安を抱くことのないよう、落ち着いた学校づくりの推進を心がけ、よりいっそう安全で安心できる学校づくりに励まなければならない。
【生徒:89%⇒92%↓、保護者:91%⇒88%↓、教職員:94%⇒97%↑】

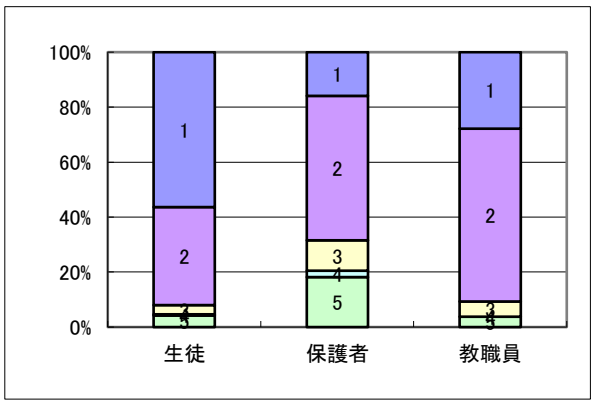
問14 宿毛工業高校では生徒ひとり一人に適したきめ細かい進路指導や進路情報の提供がなされている。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	53	59%	40	52%	54	57%
2	27	30%	33	43%	33	35%
3	3	3%	2	3%	4	4%
4	0	0%	0	0%	1	1%
5	7	8%	2	3%	2	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



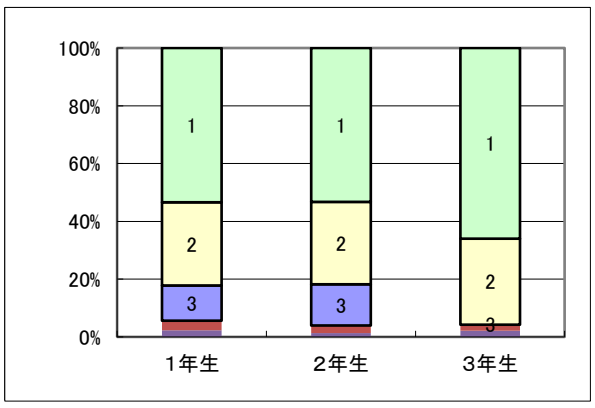
	生徒		保護者		教職員	
1	147	56%	42	16%	15	28%
2	93	36%	138	52%	34	63%
3	9	3%	29	11%	3	6%
4	1	0%	6	2%	0	0%
5	11	4%	48	18%	2	4%
6	0	0%	0	0%	0	0%



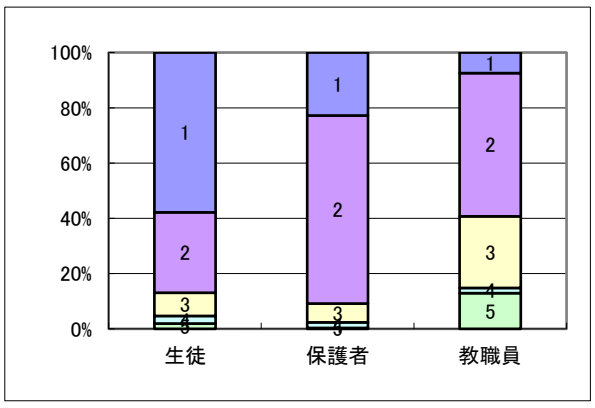
生徒・教職員は肯定的な回答が9割以上見られるが、保護者の肯定的な回答が前年度より増加したものの7割を下回っており気がかりである。将来にとって重要な事項なので、更なる情報発信、指導の工夫に努め、3者ともに評価が8割を超えるよう、3年間を見通した進路指導に取り組み、個別面談、保護者面談を有効活用して早期の進路決定に努めていく必要がある。
【生徒:87%⇒92%↑、保護者:64%⇒68%↑、教職員:89%⇒91%↑】

問15 私は学校生活や勉強、進路等について家庭で会話ができている。（生徒）
ご家庭で学校生活や勉強、進路等についての相談や会話をしている。（保護者）
生徒たちは学校生活や勉強、進路等について家庭で会話ができていると感じている。（教職員）
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	48	53%	41	53%	62	66%
2	26	29%	22	29%	28	30%
3	11	12%	11	14%	0	0%
4	3	3%	2	3%	2	2%
5	2	2%	1	1%	2	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



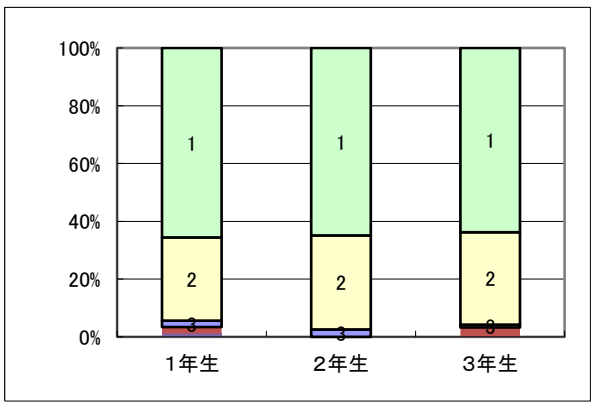
	生徒		保護者		教職員	
1	151	58%	60	23%	4	7%
2	76	29%	179	68%	28	52%
3	22	8%	18	7%	14	26%
4	7	3%	5	2%	1	2%
5	5	2%	1	0%	7	13%
6	0	0%	0	0%	0	0%



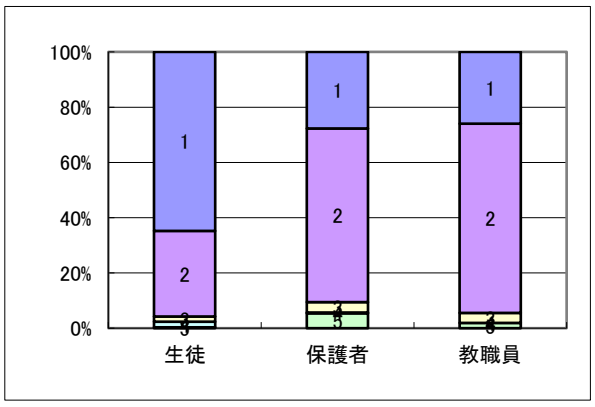
保護者は9割の肯定的な意見があるが、教職員は、生徒・保護者間の話し合いがなされているとはあまり感じていない傾向にある。学校生活、学習面、進路等については、今後も3者が連携を密にして、継続的な取り組みに努めたい。
【生徒:87%⇒87%、保護者:90%⇒91%↑、教職員:56%⇒59%↑】

問16 宿毛工業高校での学習や生活は、将来社会に出て役に立つと思う。
1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	59	66%	50	65%	60	64%
2	26	29%	25	32%	30	32%
3	2	2%	2	3%	1	1%
4	2	2%	0	0%	3	3%
5	1	1%	0	0%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	169	65%	73	28%	14	26%
2	81	31%	165	63%	37	69%
3	5	2%	10	4%	2	4%
4	5	2%	1	0%	0	0%
5	1	0%	14	5%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



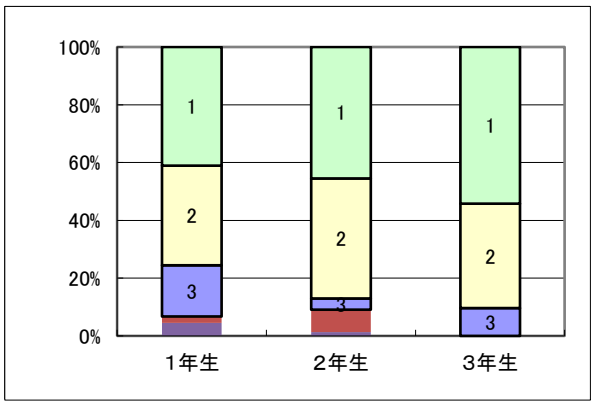
3者ともに肯定的な回答が9割を超えており、生徒の割合が4ﾎﾟｲﾝﾄ増加している。本校の教育活動全般が概ね認められていると思われるが、今後更に「社会・地域に貢献できる人づくり」を目指して全教職員で積極的に取り組んでいきたい。
【生徒:92%⇒96%↑、保護者:91%⇒91%、教職員:95%⇒95%】

問17 私は校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。　　（生徒、教職員）

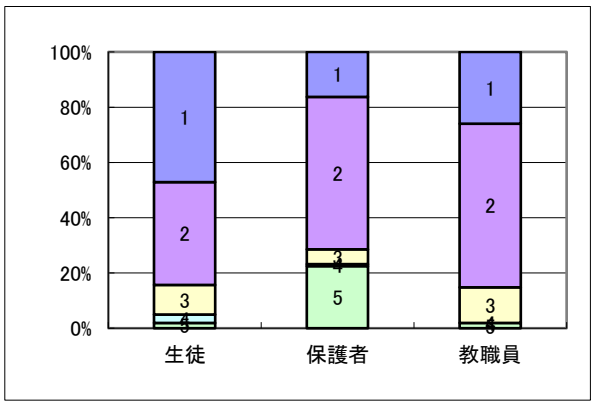
宿毛工業高校は校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。　（保護者）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	37	41%	35	45%	51	54%
2	31	34%	32	42%	34	36%
3	16	18%	3	4%	9	10%
4	2	2%	6	8%	0	0%
5	4	4%	1	1%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	123	47%	43	16%	14	26%
2	97	37%	145	55%	32	59%
3	28	11%	14	5%	7	13%
4	8	3%	2	1%	0	0%
5	5	2%	59	22%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



生徒・保護者の肯定的な意見が増加しているのに対して、教職員は6ﾎﾟｲﾝﾄ減少している。学校生活の中で、日々の清掃活動を通して、環境美化に意識して取り組んでいけるよう更なる活動が必要である。より一層啓発に努め、落ち着きのある学校環境づくりとともに、環境美化の推進を図っていきたい。

【生徒:80%⇒84%↑、保護者:70%⇒71%↑、教職員:91%⇒85%↓】

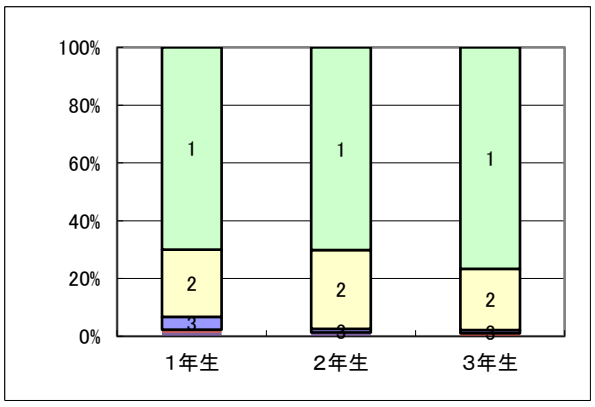
問18 私は「あいさつをする」「時間を守る」ように努力している。　　（生徒）

保護者としてお子さんに「あいさつをする」「時間を守る」ように言っている。　　（保護者）

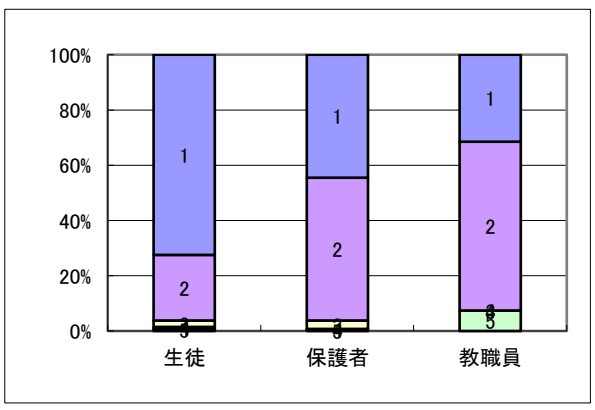
私は生徒たちに「あいさつをする」「時間を守る」ように指導している。　　（教職員）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	63	70%	54	70%	72	77%
2	21	23%	21	27%	20	21%
3	4	4%	1	1%	1	1%
4	1	1%	0	0%	1	1%
5	1	1%	1	1%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	189	72%	117	44%	17	31%
2	62	24%	136	52%	33	61%
3	6	2%	8	3%	0	0%
4	2	1%	1	0%	0	0%
5	2	1%	1	0%	4	7%
6	0	0%	0	0%	0	0%



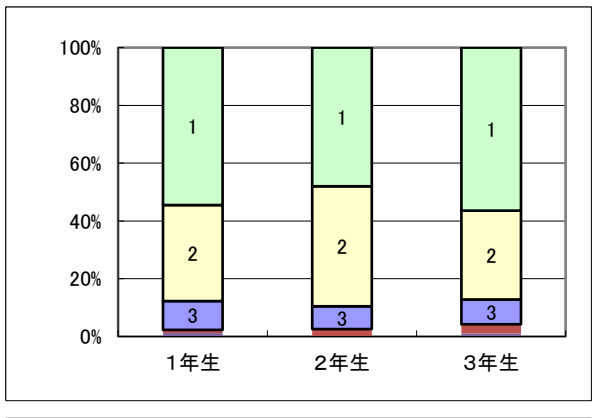
基本的な生活習慣についてのそれぞれの立場で自己評価をしてもらい、3者ともに9割以上という非常に高い結果となっている。礼儀や時間厳守は社会通念上、最も基本かつ重要であり、進路保障にも繋がることである。来校者、地域等からの評判もよく、それが習慣として身に付いていくように、今後とも努めていきたい。

【生徒:96%⇒96%、保護者:95%⇒96%↑、教職員:93%⇒92%↓】

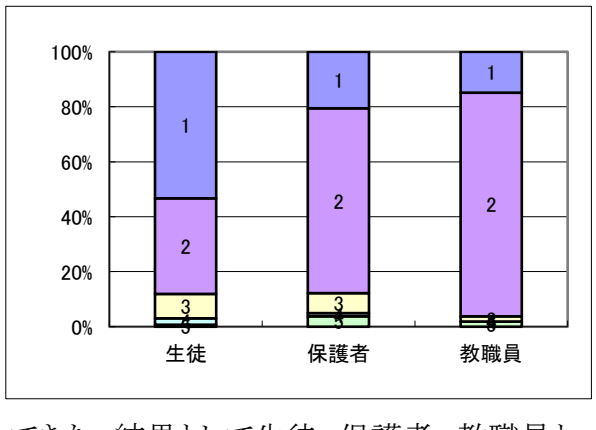
問19 宿毛工業高校は体育祭や文化祭・クラスマッチなどの学校行事が充実している。

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	49	54%	37	48%	53	56%
2	30	33%	32	42%	29	31%
3	9	10%	6	8%	8	9%
4	1	1%	2	3%	3	3%
5	1	1%	0	0%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	139	53%	54	21%	8	15%
2	91	35%	177	67%	44	81%
3	23	9%	19	7%	1	2%
4	6	2%	3	1%	0	0%
5	2	1%	10	4%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



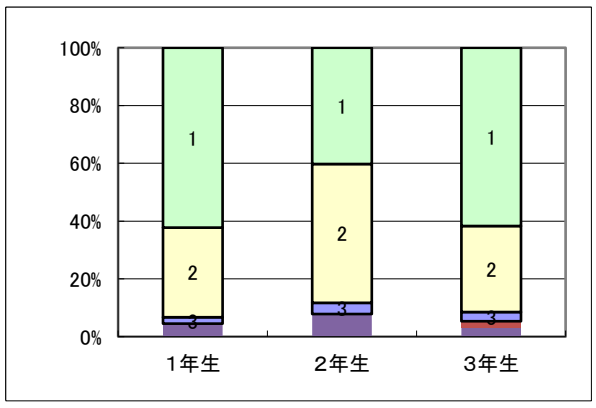
本年度は、体育祭、修学旅行等の学校行事を行ってきた。結果として生徒、保護者、教職員ともに肯定的な意見が8割以上となった。今後も、生徒会と連携を密にして、学校行事の取組に努めていきたい。

【生徒:89%⇒88%↓、保護者:82%⇒88%↑、教職員:84%⇒96%↑】

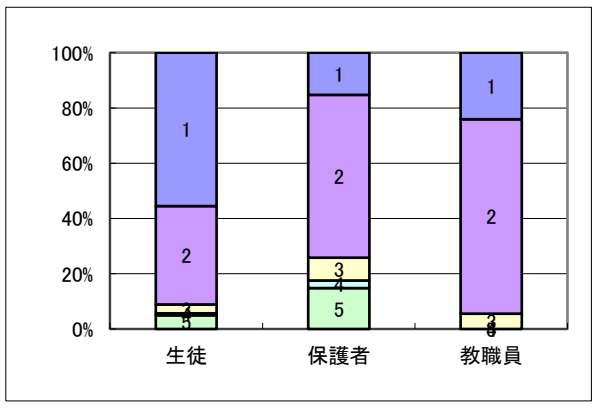
問20 宿毛工業高校は部活動に力を注いでいる。

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	56	62%	31	40%	58	62%
2	28	31%	37	48%	28	30%
3	2	2%	3	4%	3	3%
4	0	0%	0	0%	2	2%
5	4	4%	6	8%	3	3%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	145	56%	40	15%	13	24%
2	93	36%	155	59%	38	70%
3	8	3%	22	8%	3	6%
4	2	1%	7	3%	0	0%
5	13	5%	39	15%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



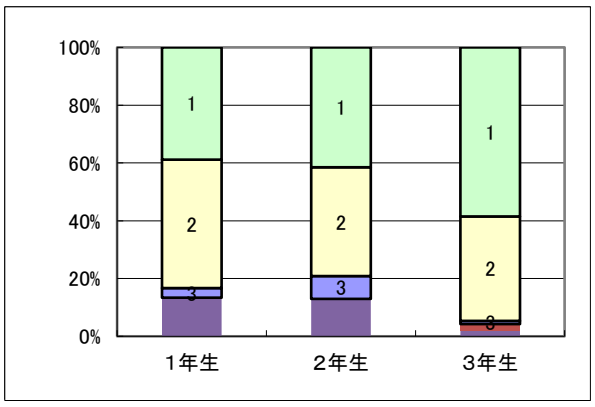
働き方改革や部活動のあり方等で、活動時間に制限がかかる中ではあるが、生徒、教職員からは9割を超える肯定的な意見が多く、積極的に取り組めていると思われる。一部の部活動において専門の顧問が配置できず、生徒や保護者の期待に応えることができていない。指導はできなくても真剣に生徒と向き合う姿勢など、可能な限り改善に取り組むとともに、部活動が活発になるようにしていきたい。資格等の補習と放課後の時間が重なることもあり、時間調整など両立できるよう努めたい。

【生徒:87%⇒92%↑、保護者:71%⇒74%↑、教職員:82%⇒94%↑】

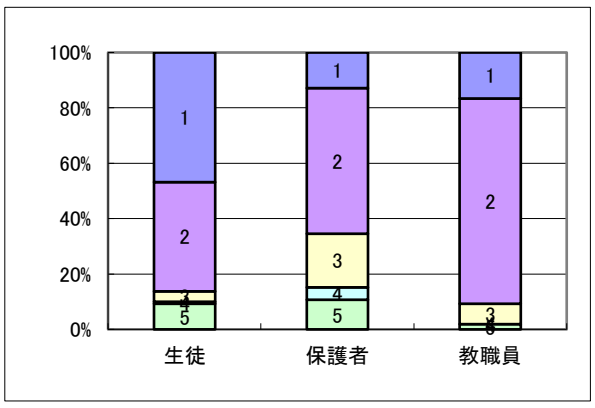
問21 宿毛工業高校は各種通信やホームページ、文書などを通じて、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	35	39%	32	42%	55	59%
2	40	44%	29	38%	34	36%
3	3	3%	6	8%	1	1%
4	0	0%	0	0%	2	2%
5	12	13%	10	13%	2	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	122	47%	34	13%	9	17%
2	103	39%	138	52%	40	74%
3	10	4%	51	19%	4	7%
4	2	1%	12	5%	0	0%
5	24	9%	28	11%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



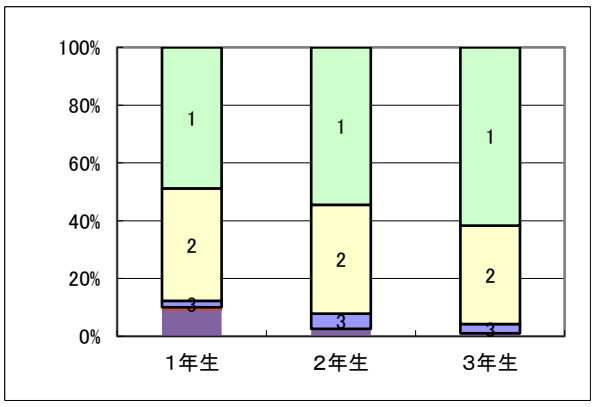
雁ヶ池通信、ドリーム、ホーム通信、各種たより等家庭への情報提供を積極的に行ってきた。ホームページの充実を心掛け、今後もより一層の情報提供をおこなっていきたい。また、緊急や重要性がある内容では、引き続き連絡システム「すぐーる」を使用し、迅速な情報提供をおこなっていく。

【生徒:85%⇒86%↑、保護者:69%⇒65%↓、教職員:85%⇒91%↑】

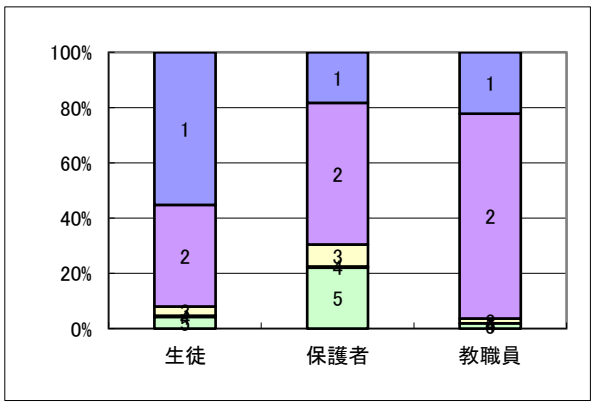
問22 宿毛工業高校は、地域と連携しながら、国道清掃ボランティアなど様々な活動をしている。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	44	49%	42	55%	58	62%
2	35	39%	29	38%	32	34%
3	2	2%	4	5%	3	3%
4	1	1%	0	0%	0	0%
5	8	9%	2	3%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	144	55%	48	18%	12	22%
2	96	37%	135	51%	40	74%
3	9	3%	21	8%	1	2%
4	1	0%	1	0%	0	0%
5	11	4%	58	22%	1	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



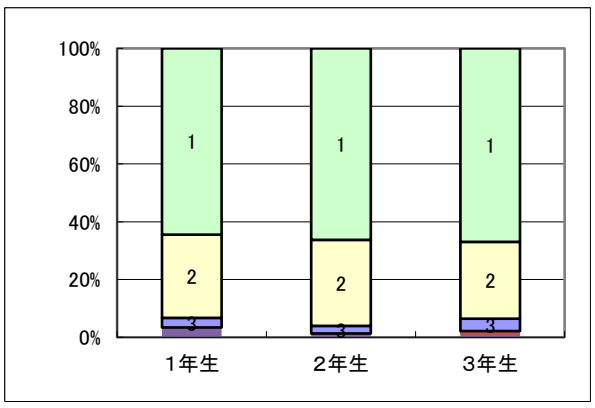
問19と同様に地域との連携やボランティア活動においても、本年度の活動は行ってきた。結果として3者ともに肯定的な意見が昨年度より大幅に増加した。次年度も地域との連携を図り、参加できる活動は積極的に参加する。

【生徒:83%⇒92%↑、保護者:65%⇒69%↑、教職員:91%⇒96%↑】

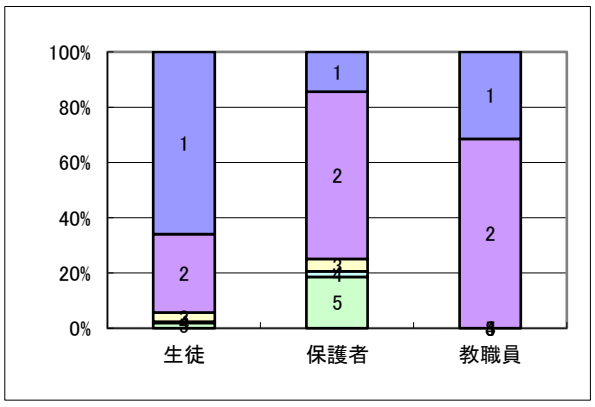
問23 宿毛工業高校は交通安全や事故防止等、安全に関する指導に積極的に取り組んでいる。

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	58	64%	51	66%	63	67%
2	26	29%	23	30%	25	27%
3	3	3%	2	3%	4	4%
4	0	0%	0	0%	1	1%
5	3	3%	1	1%	1	1%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	172	66%	38	14%	17	31%
2	74	28%	159	60%	37	69%
3	9	3%	12	5%	0	0%
4	1	0%	5	2%	0	0%
5	5	2%	49	19%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



全体として肯定的な意見は多いが、保護者の肯定的な意見が2%減少している。交通安全に対する取り組みの結果、大きな交通事故はなく、交通違反件数は前年度より減少している。生徒の命に関わる重点項目なので、今後も交通ルールに対して認識を持たせ、交通社会人として良識ある行動ができる継続的な取組に努めたい。

【生徒:93%⇒94%↑、保護者:76%⇒74%↓、教職員:96%⇒100%↑】

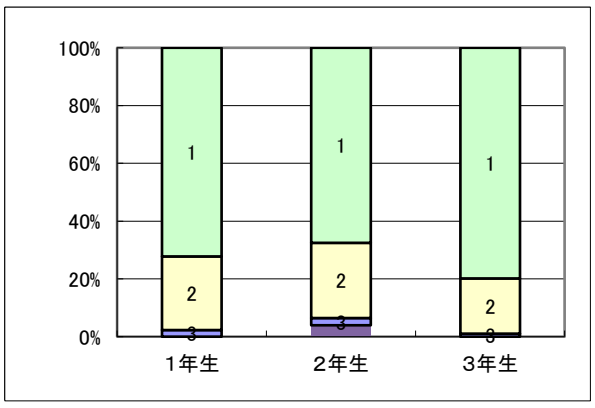
問24 私は交通安全に気をつけ交通マナーを守るように努力している。（生徒）

保護者として、お子さんに交通安全に気をつけ交通マナーを守るように言っている。　（保護者）

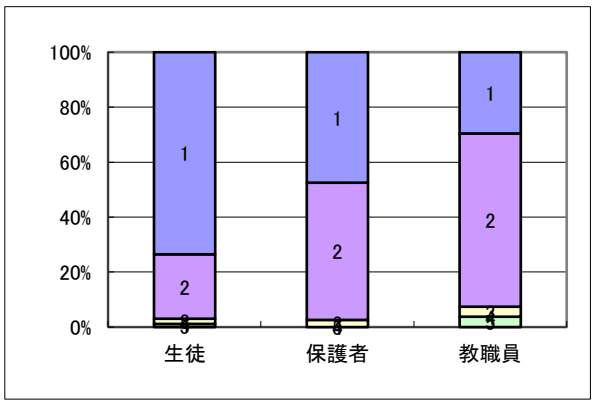
私は生徒たちに交通安全に気をつけ交通マナーを守るよう指導している。　（教職員）

1. とても思う　2. 思う　3. あまり思わない　4. 思わない　5. わからない　6. 未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	65	72%	52	68%	75	80%
2	23	26%	20	26%	18	19%
3	2	2%	2	3%	1	1%
4	0	0%	0	0%	0	0%
5	0	0%	3	4%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	192	74%	125	48%	16	30%
2	61	23%	131	50%	34	63%
3	5	2%	7	3%	2	4%
4	0	0%	0	0%	0	0%
5	3	1%	0	0%	2	4%
6	0	0%	0	0%	0	0%



本年度は、3者いずれも肯定的な意見が9割を超える高い数値になっており、設問23の取組の成果が出ている。生徒の命に関わる重点項目なので、今後も交通ルールに対して認識を持たせ、交通社会人として良識ある行動ができる継続的な取組に努めたい。

【生徒:99%⇒97%↓、保護者:100%⇒98%↓、教職員:89%⇒93%↑】

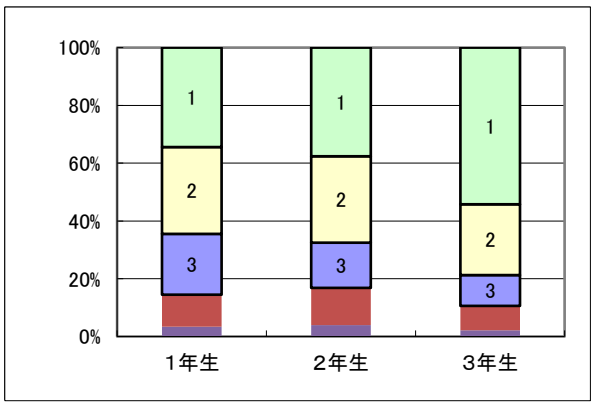
問25 私は家庭での学習習慣が身についてきている。　（生徒）

お子さまには家庭での学習習慣が身についてきている。　（保護者）

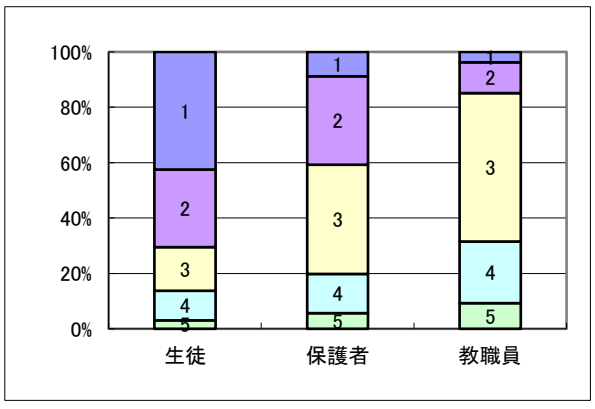
生徒たちは家庭での学習習慣が身についてきていると感じている。　（教職員）

1．とても思う　2．思う　3．あまり思わない　4．思わない　5．わからない　6．未記入

	1年生		2年生		3年生	
1	31	34%	29	38%	51	54%
2	27	30%	23	30%	23	24%
3	19	21%	12	16%	10	11%
4	10	11%	10	13%	8	9%
5	3	3%	3	4%	2	2%
6	0	0%	0	0%	0	0%



	生徒		保護者		教職員	
1	111	43%	23	9%	2	4%
2	73	28%	84	32%	6	11%
3	41	16%	104	40%	29	54%
4	28	11%	37	14%	12	22%
5	8	3%	15	6%	5	9%
6	0	0%	0	0%	0	0%



本年度、生徒の肯定的な回答が2ﾎﾟｲﾝﾄ増加しているのに対して、保護者・教職員は4ﾎﾟｲﾝﾄ減少した。3者の数値にも乖離がある。県の学習に関するアンケートでも「自主学習（家庭学習）は必要だと思う」という設問に対し、本校は県平均と比較しても11％低い結果となっている。また、携帯電話やスマートフォンなど、情報端末を利用する時間が5時間以上と回答した生徒が多くいる。基礎学力の定着は将来の進路実現に大きく関わる事項なので課題の実施内容の改善を図る必要がある。

【生徒:69％⇒71％↑、保護者:45％⇒41％↓、教職員:19％⇒15％↓】

問26　省略

子どもたち、保護者、地域の皆様方から貴重な意見をいただき、ありがとうございました。ご意見は真摯に受け止め、今後の学校運営と教育活動の改善に、活かせるよう努めてまいりたいと考えております。

【学校運営協議会アンケート】

1．そう思う　2．ややそう思う　3．あまりそう思わない　4．そう思わない　5．わからない　6．未記入

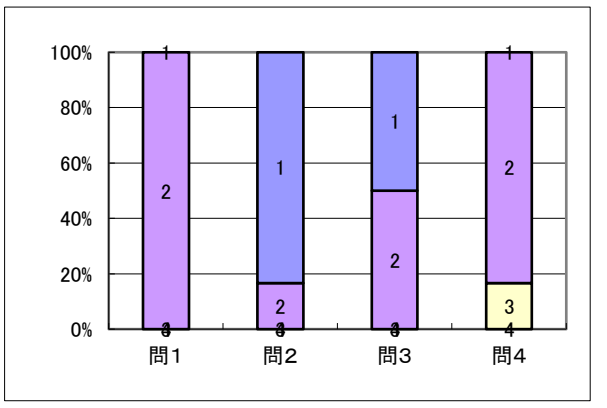
問1　生徒たちは宿毛工業高校に通学するのが楽しいと感じている。

問2　宿毛工業高校は資格取得等への対応に努めている。

問3　宿毛工業高校は科や専攻ごとに特色のある指導に努めている。

問4　宿毛工業高校は服装・頭髪等の生活指導に力を入れている。

	問1		問2		問3		問4	
1	0	0%	5	83%	3	50%	0	0%
2	6	100%	1	17%	3	50%	5	83%
3	0	0%	0	0%	0	0%	1	17%
4	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%



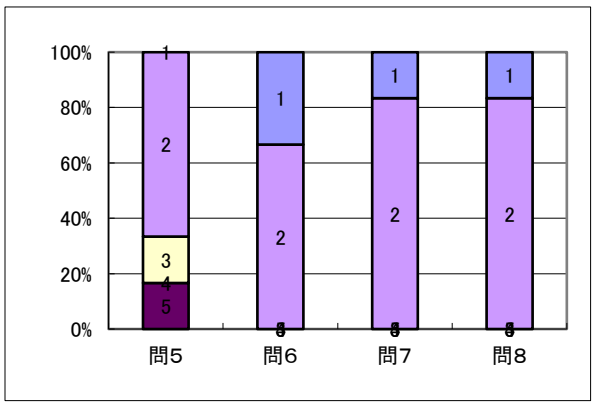
問5　宿毛工業高校の生徒は高校生としての規律が守られている。

問6　宿毛工業高校は生徒ひとり一人の進学・就職に応える教育をしている。

問7　宿毛工業高校は道徳や人権教育に力を入れている。

問8　宿毛工業高校は部活動に力を注いでいる。

	問5		問6		問7		問8	
1	0	0%	2	33%	1	17%	1	17%
2	4	67%	4	67%	5	83%	5	83%
3	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%
4	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%
6	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%



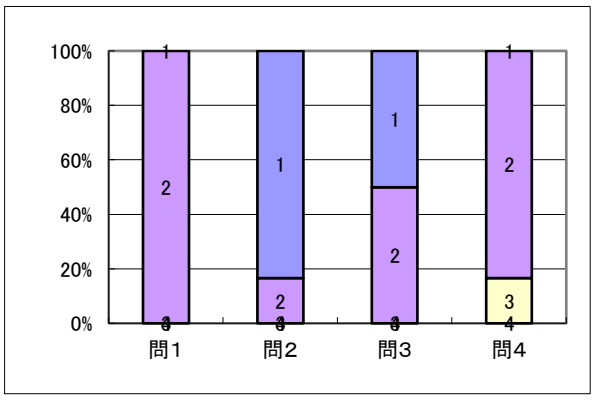
問9　宿毛工業高校は各種通信やホームページ、文書などを通じて、地域への連絡や情報提供を積極的に行っている。

問10　宿毛工業高校は、地域と連携しながら、国道清掃ボランティアなど様々な活動をしている。

問11　宿毛工業高校は交通安全や事故防止等、安全に関する指導に積極的に取り組んでいる。

問12　宿毛工業高校の生徒の交通マナーは良くなってきていると感じている。

	問9		問10		問11		問12	
1	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	3	50%	5	83%	6	100%	3	50%
3	3	50%	1	17%	0	0%	2	33%
4	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	0	0%	0	0%	0	0%	1	17%
6	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%



地域に認められる、地域になくてはならない学校として努めてきた。今後も西南地域唯一の工業高校として、地域に根ざした学校づくりに努めていかなければならない。

３　結果考察

本校の学校評価アンケートは、平成 24 年度から 28 年度までの５年間は同じ設問内容・回答方法で比較・分析してきました。この５年間で肯定的回答が徐々に伸び、すべての評価項目で否定的回答を上回りました。平成 23 年度までと比較し大きな前進に繋がったのではないかと検証しました。

平成 29 年度の学校評価アンケートから、これまでの検証をもとに、学校への評価ばかりではなく、生徒自身、保護者自身のそれぞれの立場、役割を意識して、本校の教育に参画して欲しいとの願いから、生徒や保護者・教職員の自己評価を意図的に設問に組み入れています。

また、評価項目についても、それまでの「学校運営」「生徒指導」「進路指導」「教科指導」「人権教育」「特別活動」「交通安全」の７つカテゴリーから「教科指導」と「交通安全」及び「資格取得」に関する質問を、本校の“教育重点目標”として位置づけ、「学校運営」「生徒指導」「進路指導」「人権教育」「特別活動」「教育重点目標：①基礎学力の定着と家庭学習の習慣　②資格取得の推進　③交通安全教育」の６つに再編しました。集計結果の分析は、「そう思う」「ややそう思う」という肯定的回答が全体のどのくらいの割合であるかを分析し、前年度との比較をしました。

今回、各設問の本年度と前年度との肯定的回答の割合を比較し、増加した設問数については、生徒 25 問中 19 問（前年度 25 問中 14 問）、保護者 25 問中 17 問（前年度 25 問中 12 問）、教職員 25 問中 15 問（前年度 25 問中 16 問）となっています。また、全ての設問の平均では、肯定的回答の割合が生徒 88.8%（前年比＋３ポイント）、保護者 74.5%（前年比＋0.9 ポイント）、教職員 87.6%（前年比＋1.7 ポイント）となっています（下の表参照）。

※ 全設問（25 問）本年度・前年度 肯定的回答 比較表

	肯定的回答 増加↑　設問数		全設問　肯定的回答　割合	
	本年度	前年度	本年度	対前年度差
生　徒	19	14	88.8%	＋3ポイント
保護者	17	12	74.5%	＋0.9 ポイント
教職員	15	16	87.6%	＋1.7 ポイント

以下はカテゴリー別に結果考察をしています。

【学校運営（問 1, 5, 13, 16, 21）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問　1「通学するのが楽しいと感じている」	92%	＋6ポイント
	問13「安全で安心して通える学校である」	92%	＋3ポイント

※ 落ち着いた環境で充実した学校生活が送られていることが窺える。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問　5「科や専攻ごとに特色ある指導が行われている」	96%	－1ポイント
保護者		87%	＋1ポイント
生徒	問16「学習や生活は将来社会に出て役に立つと思う」	96%	＋4ポイント
保護者		91%	±0ポイント

※ 前年度より減少している設問もあるが、高い評価を受けている。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問21「各種通信やホームページ、文書などを通じて積極的に行っている」	86%	＋1ポイント
保護者		65%	－4ポイント
教職員		91%	＋6ポイント

※ 各種通信、ホームページの充実等、更なる情報発信に努めていかなければならない。

【生徒指導（問 10, 11, 12, 17, 18）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問10「校則や決まりはおおむね妥当である」	78%	＋3ポイント
	問11「学校生活についての教員の指導は納得できる」	90%	＋3ポイント
	問12「全教職員が一致協力して生徒の指導に取り組んでいる」	90%	＋7ポイント

※ 概ね学校の校則に関しては認めていただいている部分が多いと感じているが、生徒指導部及び生徒会を中心に、時代に合った校則の見直し、制服の追加や頭髪規定変更の見直しを行い、今後も生徒・保護者、教職員間とのさらなる共通理解に努めなければならない。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問17「清掃・美化に積極的に取り組んでいる」	84%	＋4ポイント
教職員		85%	－6ポイント

※ 清掃活動の意義については継続して指導を図る必要がある。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問18「あいさつ・時間を守る」	96%	±0ポイント
保護者		96%	＋1ポイント
教職員		92%	－1ポイント

※　３者ともに９割以上が肯定的回答をしている。礼儀や時間厳守は社会通念上、最も基本かつ重要であり、進路保障にも繋がるため、習慣として身に付いていくように今後とも努めていきたい。

【進路指導（問 14, 15）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問14「生徒一人ひとりに適したきめ細かい指導や情報の提供がなされている」	92%	＋5ポイント
保護者		68%	＋4ポイント
教職員		91%	＋2ポイント

※　肯定的回答の割合が、生徒・教職員は高いが、保護者とは隔たりがある結果となった。保護者は、「わからない」回答が 18%であるが、否定的回答が 13%ある。将来にとって重要な事項なので、更なる情報発信、指導の工夫に努め、３年間を見通した進路指導に取り組み、個別面談、保護者面談を有効活用して早期の進路決定に努めていく必要がある。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問15「学校生活や勉強、進路等について家庭で会話をしている」	87%	±0ポイント
保護者		91%	＋1ポイント
教職員		59%	＋3ポイント

※　保護者は９割の肯定的な意見があるが、教職員は、生徒・保護者間の話し合いがなされているとはあまり感じていない傾向にある。学校生活、学習面、進路等については、今後も３者が連携を密にして、継続的な取り組みに努めたい。引き続き、家庭と連携し、入学時からの個別面談、３者面談、講演会等を通して早めの取組に心がけていかなければならない。また、インターンシップや企業・大学等の見学を取り入れたキャリア教育をさらに充実させていかなければならない。

【人権教育（問 6～9）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問6「悩み事や困ったことを気軽に相談できる先生がいる」	85%	＋6ポイント
保護者		60%	＋2ポイント
教職員		89%	＋4ポイント

※　保護者回答　否定的（19%）・わからない（22%）

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問7「悩み事・質問に対して生徒の相談に誠実に対応している」	84%	＋5ポイント
保護者		59%	＋1ポイント
教職員		92%	－3ポイント

※ 保護者回答 否定的（15%）・わからない（25%）

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問8「人権を尊重する教育に積極的に取り組んでいる」	89%	＋5ポイント
保護者		50%	－4ポイント
教職員		83%	－4ポイント

※ 保護者回答 否定的（15%）・わからない（35%）

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問9「生徒一人ひとりの個性・長所を見出し、伸ばす努力をしている」	88%	＋4ポイント
保護者		63%	±0ポイント
教職員		85%	－4ポイント

※ 保護者回答 否定的（18%）・わからない（21%）

※ この数値を真摯に受け止め、思春期特有の悩みを解決すべき研修やカウンセリングにこれからも取り組み、生徒個々の理解と、誠実な対応に心がけ、生徒の要求に応えられる学校に努めていきたい。

【特別活動（問 19, 20, 22）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問19「体育祭や文化祭・クラスマッチなどの学校行事が充実している」	88%	－1ポイント
保護者		88%	＋6ポイント

※ 予定通り、体育祭、修学旅行等の学校行事を行ってきた。結果として３者ともに肯定的な意見が８割以上となった。今後も、生徒会と連携を密にして、学校行事の取組に努めていきたい。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問20「部活動に力を注いでいる」	92%	＋5ポイント
保護者		74%	＋3ポイント
教職員		94%	＋12ポイント

※ 働き方改革や部活動のあり方等で、活動時間に制限がかかる中ではあるが、生徒からは肯定的な意見が多く、積極的に取り組めていると思われる。一部の部活動において専門の顧問が配置できず、生徒や保護者の期待に応えることができていない。指導はできなくても真剣に生徒と向き合う姿勢など、可能な限り改善に取り組むとともに、部活動が活発になるようにしていきたい。今後も、各部のさらなる飛躍を目指し、より効率的な練習等を工夫しながら、資格等の補習と部活動との両立が果たせるよう努めていきたい。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問22「地域と連携しながら国道清掃ボランティアなど様々な活動をしている」	92%	＋9ポイント
保護者		69%	＋4ポイント
教職員		96%	＋5ポイント

※ 本年度は実施できる活動は行ってきた。国道清掃ボランティアでは、幡多けんみん病院の草刈り・防草シート設置も併せて行った。今後も創意工夫して学校行事や地域行事に積極的に参加する取組が必要である。

【教育重点目標：基礎学力の定着と家庭学習の習慣（問 2, 3, 25）】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問2「分かりやすい授業が行われている」 「分かりやすい授業に努めている」	92%	＋3ポイント
保護者		75%	＋2ポイント
教職員		91%	＋2ポイント

※ 今後もさらに、教員はより分かりやすい授業を目指して授業研究や授業評価システム、公開授業を通してより一層研鑽に励み、生徒、保護者の期待に応えられるよう努めたい。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問3「私は学力の向上を目指して努力している」 「保護者として家庭学習をするように言っている」 「生徒の学力向上をめざして努力している」	87%	±0ポイント
保護者		62%	＋3ポイント
教職員		96%	＋4ポイント

※ 保護者、教職員の肯定的回答が前年度より増加している。生徒・教職員側の評価と保護者とのポイント差も依然として大きい。このポイント差を埋めていくためには、保護者の家庭学習への関心と協力、「努力できていない」生徒への意識づけが今後の課題である。

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問25「家庭での学習習慣が身についてきている」	71%	＋2ポイント
保護者		41%	－4ポイント
教職員		15%	－4ポイント

※ 特に生徒は、県の学習に関するアンケート調査でも「自主学習（家庭学習）は必要だと思う」と回答した生徒（76.6%）が県平均（87.6%）より 11 ポイント低い結果が出ている。自主学習（家庭学習）の習慣化を通して定着する基礎学力は将来の進路実現に大きく関わる事項であるので、家庭学習での課題の内容改善や家庭学習の意義を繰り返し生徒に伝えることで学習時間の習慣化に繋げたい。

【教育重点目標：資格取得の推進（問 4)】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問4「私は、資格取得等に向け積極的に取り組めている」	83%	＋3ポイント
保護者	「宿工は、資格取得等への対応が良くできている」	90%	＋4ポイント
教職員	「本校は、資格取得等への対応に努めている」	98%	＋2ポイント

※ 生徒の肯定的回答の割合が前年度より増加し、各科の目指すより難易度の高い資格・検定への取組は継続して積極的に行われる必要がある。また、本校の教育目標を達成するために、さらに合格率の向上を目指し生徒が意欲的に取り組めるよう、今後も引き続き資格取得の意義や資格挑戦への喚起に努めなければならない。

【教育重点目標：交通安全教育（問 23, 24)】

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問23「学校は交通安全や事故防止等、安全に関する指導に積極的に取り組んでいる」	94%	＋1ポイント
教職員		100%	＋4ポイント

	設　問	肯定的	対前年度差
生徒	問24「交通安全に気をつけ交通マナーを守るように努力している」	97%	－2ポイント
保護者	「交通安全に気をつけ交通マナーを守るように言っている」	98%	－2ポイント
教職員	「交通安全に気をつけ交通マナーを守るよう指導している」	93%	＋4ポイント

※ 肯定的回答は、生徒・保護者は 100%に近い数値に対して、教職員 93%である。
教職員全員が交通安全に関する指導力を向上しなければならない。

※ 交通違反件数も H28 年度のピークだった 119 件から、令和４年度は目標としている 50 件以下（48 件）となった。令和５年度は 73 件、今年度は 61 件（2/26 時点）である。

※ 本校では、「安全教育」は生命にかかわる最重要課題の一つと捉えている。これからも引き続き、生徒会とも協力して交通社会人として良識を伸ばし、行動に移すことができるような継続的な取組に努めたい。

このアンケート結果をもとにして、「学校運営協議会」「校内研修」などで検討を重ね、保護者、地域の皆様方の期待に応えることのできる学校を目指し、改善に努めたいと思っております。また、アンケート結果は全教職員などに配付を行い、学校ウェブサイトにも掲載することとします。

今後ともご理解とご協力をいただき、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。